

令和7年度 活動計画について

はじめに

スサノオの風は、法人設立の原点、「文化」「スポーツ」の振興を基調とする一方、人口減少が加速する佐田地域の地域経済振興、生活支援等の事業を展開し、持続可能な農村社会の形成に努めます。

1 基本方針

ワクワクする佐田を目指して

指定管理施設の利用促進&機能強化

- ★利用者・利用回数の増加を図る⇒年間利用者目標ホール 8,500 人 スポセン 10,000 人。
個性的な催事、軽スポーツ教室の開催。
- ★施設利用環境の整備⇒接遇の向上、清掃の徹底
空き状況の周知、施設改修要望(特にホール)
- ★地域拠点機能強化⇒団体事務局、談話スペースの
確保、島大サテライトラボラトリー

情報発信の強化

- ★法人ホームページの充実、SNSの積極的活用
- ★「サダイズム」の投稿者の増員⇒投稿者募集
- ★動画制作
- ★動画のアップ(YouTube ほか)
- ★季刊誌「風のたより」発行(年4回)

持続可能な佐田づくり事業の展開

- ★佐田地域づくり協議会事務局(RMO 事業の継続)
- ★観光コンテンツ作成と観光地域戦略会議事務局
- ★佐田暮らしサポート事業の展開(おたすけ隊等)
- ★地域づくり関係学習会の開催(佐田がんばる塾)
- ★佐田地域特産品等の販売促進

工賃向上に向けた障がい者事業

- ★野菜栽培と cotaba での販売(農福連携)
- ★工賃向上に向けた作業内容の検討
- ★利用者の増加に向けた取り組み展開
- ★送迎体制の検討、社員待遇改善
- ★障がい者福祉研修会開催(関係団体と協働)

財源確保に向けた事業展開

- ★地域づくり活動支援寄付金募集サイトの開設
- ★経費見直しの徹底
- ★各種助成金への応募
- ★第3種旅行業取扱数の増加
- ★新規事業・活動領域拡大の検討

地域貢献する存在感ある NPO 法人をめざす

■指定管理施設自主事業(案)

施設名	考え方	事業内容
スサノオホール	<ul style="list-style-type: none">◎佐田地域の文化・交流拠点としての機能を高める◎普段でも来訪者の増員を目指す。◎地域拠点の機能を増す◎施設・設備管理に留意する◎施設改修の要望◎利用者 8, 500人確保	<ul style="list-style-type: none">★cotaba 4回開催 6/8、9/14、12/14、3/8・ミニステージ・コタバスの運行・コタバでやおや★ホラーナイト 7/19、7/20★平和を考える展示 8/1~8/17★小さな映画館 隨時★展示室の活用★文化協会事業への支援 (むらくも座、神楽、民謡等)★その他
スポーツセンター	<ul style="list-style-type: none">◎体育館利用者 1万人を目指す 特に佐田町在住者◎施設・設備管理に留意する	<ul style="list-style-type: none">★スポーツ協会と協働し軽 スポーツ教室の開催

2 各部門の事業方針

2-1 本部関係

- ・理事・社員が協働し、法人の使命を具現化させていきます。また、働きやすい職場づくりのために、基本給等雇用条件の見直し、社員意見の採用、福利厚生事業の充実等を図っていきます。また、パワーハラスメント防止等社員研修も実施します。
- ・厳しい財政運営が求められています。効果性の低い支出の見直し、助成制度の活用、寄附金など財源確保に力を注ぎます。
- ・佐田町文化協会、出雲市スポーツ協会佐田支部の事務局を引き続き担当します。なお、スポーツ協会事務局は効果的な事業推進の観点から関係機関と協議を開始します。
- ・出雲市レンタサイクル事業は、須佐神社への直通バスの運行に伴い、利用者が激減しています。今年度は引き続き業務受託するものの来年度については今後協議していきます。
- ・「朝日たらら」の管理を継続して行います。

3-1 指定管理施設管理運営

- ・スナオホール、佐田スポーツセンターは、存続に向け、利用者の増加、多機能化を図り、佐田地域でより必要度の高い施設になるよう努めています。また、利用実態に適応した開閉館時刻を設定します。
- ・ホール、体育館ともに老朽化が進み修繕箇所が増加しています。設置者である出雲市と協議を行い、計画性のある修繕工事の実施を要望していきます。
- ・公演中の事故が発生しないように設備点検の徹底、無理な演出、長時間に及ぶ舞台関係者の労働などが発生しないよう留意していきます。
- ・スナオホールならではの催事開催に努め、出雲市内他ホールとの差別化を図っていきます。

4-1 文化振興事業

- ・特色ある自主事業を展開していきます(前記「基本方針」に記載のとおり)

5-1 スポーツ振興事業

- ・体育館の利用促進のために、スポーツ協会佐田支部と協議し事業を実施していきます。
- ・多目的グラウンドの整備・除草等に心がけ、利用者に心よく使用していただくとともに、事故の発生を予防していきます。

6-1 福祉事業

- ・障がい者就労継続支援施設「やまびこ園」の通所者の増加を図ると共に「軽作業」の充実を目指していきます。また、作業発注者との工賃引上げ協議も実施します。
- ・事業の継続性を図るために人材確保に努め、退職予定者との引継ぎ期間を設けます。また、送迎体制・時間の見直しも実施します。
- ・出雲市の介護予防教室を継続して受託し、参加者の増員を図ります。
- ・高齢者等の居場所づくりを検討します。
- ・「佐田おたすけ隊」が効果的に展開されるよう関係機関との連携を強化します。

7-1 中山間地域振興事業

- ・佐田自治協会の「佐田地域戦略会議」「さだ未来ビジョン推進部会」の事務局を引き続き担当します。
- ・新たな地域運営組織「佐田地域づくり協議会」の事務局を担当します。業務内容等は未定ですが、持続可能な農村社会づくりに努めます。
- ・さだのちいさなマーケット「コタバ」は、佐田町の賑わい創出を目的に6・9・12・3月の4回開催します。
- ・出雲市観光基本計画に基づき佐田地域の観光発展に努めます。
- ・持続可能な地域形成のために各種研修会の開催・参加、自主事業の展開に努めています。
- ・「風のたより」の発行や、ホームページやフェイスブックなどの情報発信に積極的に取り組みます。また、佐田町内の情報を掲載するサイト「サダイズム」の登録者増加と内容の充実を目指します。
- ・八幡原交流施設「結」の活用を図っていきます。
- ・島根大学教育学部 作野広和教授との連携を図っていきます。

令和7年度事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲および人数	支出額(千円)
①文化、芸術、福祉の向上に関する事業の普及と宣伝	「文化団体活動支援」 佐田町文化協会の事務局を担当する。	通年	スサノオホール	2人	280人	100
②文化、芸術、福祉の向上に関する事業の企画及び実施	山の中の小さな映画館 ホール会議室、文化練習館等を使用してドキュメンタリー映画等の上映を年3回程度実施する。	R7.7・11・2月	スサノオホール外	5人	100人	100
	LaLaLa Live 県内外の歌・ギター、エレクトーン、コンテンツボラリーダンス。 それぞれ活動している3組のアーティストが出演するイベントを開催する。	2025/10/4	スサノオホール	5人	150人	700
	戦争から平和を考える企画展「出雲に戦争はあったのか」 出雲、島根に残る、戦争の被害・痕跡から、戦争の事実を知り、自らで感じ、戦争から平和を考える機会を提供する。	2025/8/1 ~2025/8/17	スサノオホール	5人	100人	94
③文化芸術活動での各種講演会等への講師派遣	今年度は実施しない。					
④社会教育、まちづくり及び子どもの健全育成等を目的とした事業への援助及び協力	よしととゆかいいなホーラーナイト&宵まつり 島根県を中心に活動している紙芝居アーティストよしとさんに制作・監修いただき、スサノオホールでおばけやしきを開催する。6月のワークショップ、7月の妖怪によるお化け屋敷、併せてマルシェも開催する。	2025/6/8、 7/19, 7/20	スサノオホール	6人	250人	860
	謎解きゲーム～スサノオからの挑戦状③～ 恒例の謎解きゲームをスサノオごとこいまつりに併せて実施する。 テーマは佐田の歴史にスポットをあてる。	2025/11/3	スサノオホール外	6人	30人	70
⑤スポーツの推進を目的とした事業の企画及び実施	「出雲市スポーツ協会佐田支部の活動支援」 出雲市スポーツ協会佐田支部の事務局を担当する。	通年	佐田地区内	2人	2800人	51
	体育馆で楽しい汗をかこう 出雲市スポーツ協会佐田支部と共同でモルック等の軽スポーツ教室を開催する。	R7.11頃	佐田スポーツセンター	5人	30人	10
⑥スポーツの振興を目的とした各種講習会等への講師派遣	今年度は実施しない。					
⑦障害福祉サービス事業	「就労継続支援施設 やまびこ園の運営」 精神・知的・身体障がい者を対象とした就労継続支援施設「やまびこ園」の運営を実施する。	通年	やまびこ園	5人	1500人	16,874
⑧相談支援事業	「障がい者相談支援事業」 障がい者の生活支援、福祉サービス利用等の相談業務を実施する。また、出雲市の委託を受け、障がい程度区分認定調査業務を実施する。	通年	佐田町内	2人	140人	1,740
⑨高齢者の介護予防、生活支援に関する事業の企画及び実施	「さだ予防教室」 出雲市からの委託で高齢者の引きこもり防止等を目的に、毎週水曜日介護予防教室を開催する。開催回数は49回を計画。	通年	潮の井ふれあいセンター	5人	300人	1,440
	「佐田おたすけ隊」 佐田地域の高齢者等を対象に有償ボランティア制度「佐田おたすけ隊」を実施する。	通年	佐田町内	10人	20人	143
⑩健康づくり及び介護予防を目的とした各種の研修会等への講師派遣	今年度は実施しない。					
⑪スサノオホール、佐田スポーツセンター等公立施設の管理運営業務の受託	「指定管理業務の受託」 スサノオホール、佐田スポーツセンター・文化練習館の指定管理業務を実施する。	通年	スサノオホール・ 佐田スポーツセンターカー・文化練習館	10人	20,000人	31,793
⑫佐田地域の集落・団体支援及び研修事業等の企画及び実施	「農村RMO事業」「佐田地域戦略会議」「さだ未来ビジョン推進部会」事務局支援 佐田自治協会の佐田地域戦略会議及び専門部会（さだ未来ビジョン推進部会）の事務局及び佐田地域づくり協議会（農村RMO形成推進事業）の事務局を担当する。	通年	スサノオホールほか	5人	2,800人	653
	「島根大学 佐田サテライトラボラトリ支援」 島根大学を主として佐田地域の地域課題を共に研究する。また、さだラボフォーラムの開催に際し協力する。	通年	スサノオホールほか	5人	2,800人	0

⑭ツーリズムの企画立案と実施事業	第3種旅行業の実施 佐田地域内外の方を対象に旅行企画の実施、交通チケットの手配等の業務を実施する。また、佐田地域資源を活用したツアーの企画・運営も実施する。	通年	佐田町内・外	1人	100人	874
⑮地域関連グッズ等の商品開発及び販売事業	「さだのちいさなマーケットcotaba」 佐田町内外のショップ等やアーティストを招き、年4回開催する。	R6.4～R7.3	スサノオホール内外	5人	800人	100
⑯その他この法人の目的を達成するために必要な事業	八幡原交流施設「結」の運営 (社福)やまゆりから借用している古民家に障がい者通所施設、「やまびこ園」と住民交流スペースを設け維持管理等を実施する。	通年	八幡原交流施設	4人	10人	1210
	広報活動 季刊広報誌「風のたより」を4回発行する等、ホームページ・SNSを積極的に運用する。	通年	佐田町内外	5人	2,800人	100

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲および人数	支出額(千円)
イベント各種のチケット販売	委託を受けチケット販売業務を行う。	通年	スサノオホール	5人	10人	10